

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	※本人を共に支え合う家族との関係 毎月、担当及び管理者が家族宛てに手紙を書き、大変好評ではあるが、慢性化しており、なかつ季節感等に乏しい。	ご家族への手紙を新しい形態にする。	※新しい、季節感のある様式とし、用紙も大きくして、読みやすい形態にする。記入する職員も、見る側が読みやすくなるように考えて記入する。また、他の職員が書いた手紙の内容を確認し、内容の善し悪しや書き忘れた内容がないか等、書いた職員と検討する。	3か月
2	1	※理念の共有と実践 開所当初からの理念であるが、その時とは状況に変化が生じているため、現状に即さないものとなっている。	現在の環境に適した理念をつくりあげる。	※管理職だけでなく、一般の職員も含めて検討し合い、新しい理念を作成する。	3か月
3	35	※災害対策 災害に対する備蓄が少ない。	最低3日間、孤立状態となっても耐え得る備蓄を行う。	※備蓄品リストを作成し、それに沿った食料・飲料水、生活必需品の備蓄を行う。 ※火災時想定で、屋外にも備蓄(重要書類含む)を行う。	6か月
4	26	※チームでつくる介護計画とモニタリング 現在の入居者の生活状況は落ち着いているが、それゆえ、意欲的なプランとなっていない。	個々の入居者が、より意欲を持てるプランを策定し、それを職員全員で取り組んでいく。	※個々の得意な事(得意だった事)を行うプランを組み入れる。皆さん、比較的、外へ出ることが好きなので、特に外での活動を組み入れる。	4月以後から3か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。